

図3

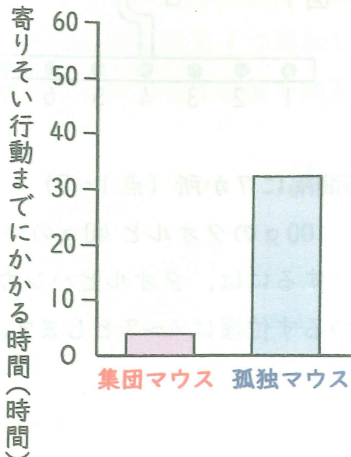
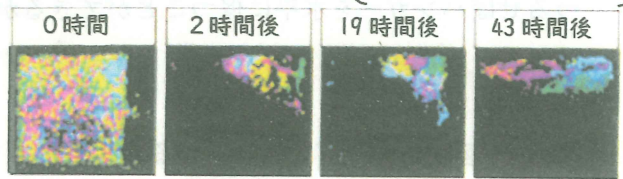
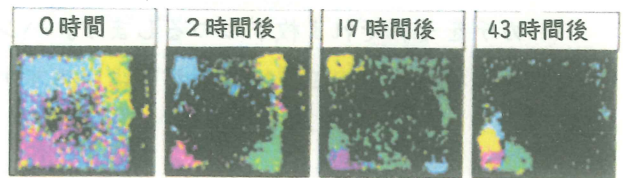


図4

集団マウス4匹の行動パターン



孤独マウス4匹の行動パターン



(1) 実験1の結果(図3、図4)の記述として最も適当なものを2つ選び、番号で答えなさい。

- 1 集団マウスは、短時間で寄りそい行動をしたが、最終的には互いに最大の距離を^{たが}おいた。
- 2 孤独マウスは、まず互いに最大の距離を保つように分散して、寄りそい行動に長い時間がかかった。
- 3 孤独マウスは、いったん寄りそい行動をしたが、また分散していった。
- 4 孤独マウスは19時間後に、4匹がいっせいに寄りそい行動をした。
- 5 集団マウスは孤独マウスに比べ、寄りそうまでの行動パターンの個体差が大きい。
- 6 孤独マウスは集団マウスに比べ、寄りそうまでの行動パターンの個体差が大きい。

【実験2】 図5のように、これまで一度も会ったことのない集団マウスと孤独マウスを各2匹ずつの組み合わせで、実験1と同様の実験をした。その際に、図6に示した3通りの組み合わせのマウスが寄りそうまでの時間を調べた。その結果、孤独マウスが集団マウスと同じケースに入れられると、寄りそい行動をするまでにかかる時間が大幅に^{おおはば}短縮された。

図5 集団マウス2匹と孤独マウス2匹

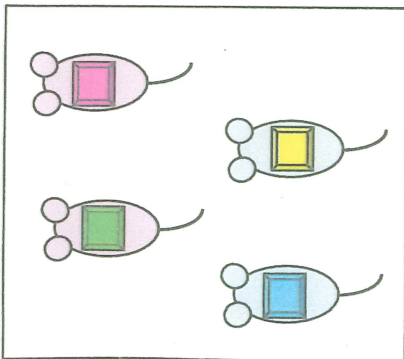


図6

